

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	コード	作成者	役職	文化スポーツ課長
		02-02-08		氏名	田原義大
			電話	63-3813	
			このシート作成に要した時間	3.0	時間

この施策の アピール ポイント	成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%以上にするを目標とし、スポーツ人口を増やすことで生涯スポーツ社会の実現を目指す。スポーツへの関心や意欲を高めるため、市民に感動を与えるスポーツイベントの誘致や開催など積極的な取組を行う。
-----------------------	---

この施策の 平成26年度の 施政方針	記載なし
--------------------------	------

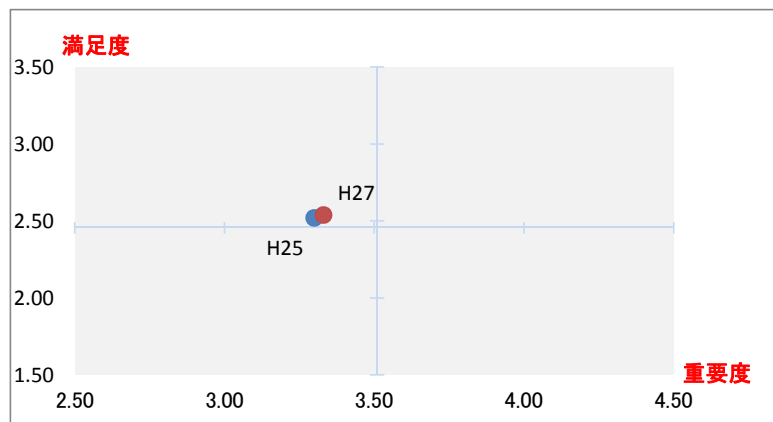
<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	自己実現施策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画(中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民だれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じていつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーション活動に参加でき、スポーツに親しめるようにすることで、市民の多様なスポーツニーズへの対応や健康増進を図り、生涯スポーツ社会の構築を目指します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	運動公園をはじめ市内の体育施設では、多くの市民がスポーツを楽しんでいます。市民の嗜好やライフスタイルの多様化、また高齢化の進展などに伴い、健康づくりから本格的な競技スポーツに至るまで、スポーツに対する多様な役割が期待されています。今後は、多様なニーズに対応し、市民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会への環境づくりが重要になっています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> スポーツにふれる機会の創出 指導者の養成・確保 総合型地域スポーツクラブの育成と支援 競技スポーツの推進 子どもの体力向上 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度		H25	H27
重要度(%)		3.30	3.33
満足度(%)		2.52	2.54

《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	スポーツ・レクリエーションに対する重要度の認識がやや低い。スポーツ・レクリエーションの重要性について事業を通じ周知に努める必要がある。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
成果指標 週一日以上運動している市民の割合【市民意識調査】	目標	%	50.0	50.0	50.0	市民意識調査結果(H25は未実施)	H27	50.0
	実績	%	35.2	-	37.2		H28	50.0
	達成率	%	70.4	#VALUE!	74.4		H34	60.0
	ベンチマーク						-	-
参考指標① 総合運動公園等市内体育施設の利用者	目標	人	460,000	460,000	460,000	市内のスポーツ施設の利用者数	H27	460,000
	実績	人	371,539	356,657	334,738		H28	460,000
	達成率	%	80.8	77.5	72.8		H34	500,000
	ベンチマーク						-	-
参考指標② 学校体育施設開放利用者	目標	人	131,000	131,000	131,000	地域スポーツの活動拠点として学校体育施設を利用している人数(1年間の延べ人数)	H27	131,000
	実績	人	74,950	67,247	61,908		H28	140,000
	達成率	%	57.2	51.3	47.3		H34	150,000
	ベンチマーク						-	-
参考指標③ スポーツ教室の参加者	目標	%	100	100	100.0	スポーツ教室の募集定員に対する参加者割合	H27	100
	実績	%	73	77	75		H28	100
	達成率	%	73.0	77.0	75.0		H34	100
	ベンチマーク						-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	本市のスポーツ振興計画では、生涯スポーツ社会の実現に向け、成人の週一回以上のスポーツ実施率を50%以上とすることを目標に掲げ、各種スポーツ施策を展開することとしている。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	スポーツ人口を増やす取り組みとして、スポーツフェスティバルやチャレンジデー、トップアスリートを活用したスポーツ教室などを開催し、スポーツを始めるきっかけづくりの場を提供している。また、指導者育成の取り組みとして社会体育研修会やスポーツ少年団指導者講習会などを開催して対応している。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	週に1日以上運動している人割合は伸び悩んでいる。今後、早期に目標が達成できるよう市民ニーズに沿った住民総参加型のスポーツイベントの開催をはじめ各種スポーツ教室や学校体育施設開放事業等の実施により、スポーツをはじめのきっかけづくりの場を積極的に提供していく必要がある。	
進行年度(H27年度)の取組内容(課題解決状況)		平成26年チャレンジデーは参加率65.9%で目標の50%を上回ることができた。引き続き市民の日常生活の中に運動・スポーツが取り入れられていくよう啓発を行う。スポーツフェスティバルや各種スポーツ教室等をきっかけとし、成人が週1回15分以上スポーツを行う人の割合を目標値に近づけるよう努めていく。また、スポーツへの関心や意欲を高めるため、市民に感動を与えるようなスポーツイベントの誘致や開催など関係団体等と連携して取り組んでいく。平成27年度4月には備前市日生大橋マラソンを実施。	
翌年度(H28年度)の取組目標		市民ニーズに沿ったスポーツ・レクリエーション大会や各種スポーツ教室を開催する。スポーツを始めるきっかけづくりとなる機会を提供することにより、成人が週1回15分以上スポーツを行う人の割合を50%に近づける。平成28年度全国高等学校総合体育大会(ソフトテニス大会)を本市で実施し、高校生の健全育成、競技力の向上とともに、地域活力の向上にも繋げていく。	
二次評価者コメント		今のストレス社会の中、また長寿命化の中、健康維持のためのスポーツの役割はますます大きくなっているが、市としてもそのための指導者の育成、環境整備等、また保健部門との連携などを幅広く進めていただきたい。	基本施策への貢献度
役職	市民生活部長		3 中立
氏名	藤原弘章		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等 (単位:千円,人)									施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度				平成27年度
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数		当初予算
01	B&G海洋センター総務事業	単市	154	412	0.04	807	823	0.08	188	296	0.03	209	☆☆☆☆☆
	海洋スポーツ普及事業	単市		471	0.05		427	0.04		498	0.05		☆☆☆☆
02	社会体育団体支援事業	内部管理	5,374	3,031	0.34	6,026	3,012	0.31	5,842	2,649	0.27	7,568	☆☆☆☆☆
	スポーツ教室・研修会等開催事業	単市		643	0.07		875	0.09		2,131	0.22		☆☆☆☆☆
	スポーツ大会等開催事業	単市		2,903	0.31		2,965	0.30		10,036	1.01		☆☆☆☆☆
	スポーツ拠点づくり推進事業	補助		306	0.03		318	0.03		310	0.03		☆☆☆☆
03	保健体育総務事業	内部管理	10,749	5,393	0.56	10,444	5,415	0.53	10,204	1,399	0.14	11,729	☆☆
	各種委員会	内部管理		523	0.06		708	0.07		585	0.06		☆☆☆
	体育功労者・全国大会等出場選手激励金	単市		578	0.06		198	0.02		397	0.04		☆☆☆
04	総合運動公園管理運営事業	単市	109,790	1,627	0.17	89,939	2,195	0.22	111,763	1,796	0.18	110,478	☆☆☆☆
	伊部運動公園管理運営事業	単市	655	100	0.01	830	99	0.01	397	289	0.03		☆
	三石運動公園管理運営事業	単市	2,576	0	0.00	2,357	0	0.00	2,167	188	0.02		☆☆
	日生運動公園管理運営事業	単市	12,477	391	0.04	9,200	302	0.03	8,884	195	0.02		☆☆☆☆
	浜山運動公園管理運営事業	単市	7,840	100	0.01	7,273	99	0.01	7,705	94	0.01		☆☆☆☆
	日生武道場管理運営事業	単市	1	0	0.00	1	0	0.00	1	0	0.00		☆
	吉永B&G海洋センター・テニスコート管理運営事業	単市	10,752	79	0.01	11,906	0	0.00	10,891	195	0.02		☆☆☆
	神根農村広場等管理運営事業	単市	1,365	100	0.01	2,278	411	0.04	1,275	94	0.01		☆☆
05	学校体育施設開放事業	単市	1,154	399	0.04	1,127	397	0.04	906	498	0.05	893	☆☆☆☆
この施策に費やした資源 (単位:千円,人)			平成24年度	平成25年度			平成26年度			平成27年度			
			162,887	17,056	1.81	142,188	18,244	1.82	160,223	21,650	2.19	130,877	

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	スポーツ基本法	
総合計画	大項目	基本構想	02 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問	担当課(室)	文化スポーツ課スポーツ振興係
	中項目	基本計画	02 自分を磨ける・自分を変えられるまち	合	職・氏名	係長 波多野 靖成
	小項目	施策	08 スポーツ・レクリエーション活動の推進	先	電話	63-3813
事務事業名		02	スポーツ推進事業	このシート作成に要した時間		3.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	①スポーツ少年団・体育協会等社会体育団体 ②体づくり・健康維持・技術の向上を目指したスポーツ愛好者 ③スポーツ大会に出場する市民と観覧者 ④大会に出場するアーチェリーの競技者と観覧者	
目的(何のために)	①スポーツ少年団・体育協会育成等の支援を行い、活性化を図る。②年齢や適性、地域や職場等の実態に応じたスポーツ活動を推進するための機会や情報提供 ③市民のスポーツ活動の発表の場を提供 ④アーチェリーの全国大会を開催し、アーチェリー競技の拠点づくりを行う。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	①各種団体を支援をし、市と協働でスポーツ振興を行う。②定期的な運動・スポーツの実施率の向上を図る。③日頃の練習の成果等、活動の発表の場を提供することにより、スポーツの楽しさと交流を図る。④全国大会の開催により、地域での活性化を図る。	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
社会体育団体育成事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会の事務局	○
スポーツ教室・研修会等の開催事業	研修会の開催(前期・後期)、スポーツ教室(出前スポーツ教室・ルネッサンスワーク教室・陸上競技ジョギング教室)、少年野球教室、はつらつママさんバレー	◎
目的を達成するための実施した事業	スポーツ大会等開催事業 大会の開催(ナレンゾ ティー・パズル・インク・フェスティバル・フリスビー、ふれあいマラソン、備前日生大橋マラソンの準備)	◎
	スポーツ拠点づくり推進事業 全日本小学生中学生アーチェリー選手権大会の開催	○

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	5,374	6,026	5,842
	必要人員	人	0.75人	0.73人	1.53人
	事業費	千円	12,257	13,196	20,968
	国庫支出金	千円	4,000	4,000	4,000
	受益者負担金	千円			189
繰入金	千円				
市債	千円				
その他(一)	千円			490	
一般財源	千円	8,257	9,196	16,289	
受益者負担比率	%	-	-	0.9%	

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標名	説明	各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数(チャレンジデーは除く)			
結果指標量			4,176	4,407	4,196
対前年比	%		-	105.5%	95.2%
活動コスト	円				
単位当たりコスト	円		0	0	0

事業の成果						(平成26年度事業)
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室の参加者数	目標値(A)	10,500	10,500	10,500	10,000	
	実績値(B)	4,176	4,407	4,196	到達目標値	
	達成率(B/A)	39.77%	41.97%	39.96%	12,000	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市主催の、各種スポーツ大会・スポーツイベント・スポーツ教室に参加した人数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H27年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	昨年より約600人の参加があった「リレーカーニバル」が陸上競技協会主催となり、成果指標の参加者数は減少したが、実質は増加である。4月開催の備前日生大橋マラソンにより、市民が「大会に参加する」「観戦する」スポーツに加え「大会を支える」というスポーツ参加の喜びが生まれた。今後も大会へのあらゆる関わりを通して、市民の参加を奨励して行く。スポーツイベントに伴う宿泊・飲食など、大会参加者の付加価値を高め、観光面でのタイアップを目指す。						

総合評価		総合評価
市民総参加型のイベントであるチャレンジデーは最終参加率65%となり、目標は達成した。また事業所に於いても朝の時間に体操など積極的に取り入れていることもわかった。今後はさらに事業所、そして多くの市民の皆さんがもう一歩進んで市内の体育施設に足を運んでいただくよう、スポーツフェスティバルを「体育の日」に行い、参加しやすい種目をPRして行きたい。また、指導者育成の研修会や地域で参加できるスポーツ教室を開催することにより、運動やスポーツのきっかけづくりとする。今後も市民からの情報をたくさん入手し、だれもが気軽に参加できるイベントを開催する。	総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

平成28年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	平成28年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技の開催に伴い、市民のスポーツの関心を高め、観光関係、商工関係、自治会関係など、スポーツ関係者のみでなく、あらゆる関係者がスポーツの持つ力を認識していただき、「支える」スポーツ行事を積極的に行う。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな

備前市事務事業評価シート

(平成26年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成17年度		根拠法令・例規等 スポーツ基本法・備前市スポーツ推進審議会に関する条例 外	
総合計画	大項目	基本構想	02	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 担当課(室) 文化スポーツ課スポーツ振興係 合 職・氏名 係長 波多野 靖成 先 電 話 63-3813 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	02	自分を磨ける・自分を変えられるまち	
	小項目	施策	08	スポーツ・レクリエーション活動の推進	
事務事業名		03 保健体育総務管理事業			

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	①体育協会・スポーツ少年団 ②スポーツ推進審議会・スポーツ推進委員会の各委員 ③競技スポーツで高いレベルを目指し、全国大会へ出場する人		
目的(何のために)	①体育協会・スポーツ少年団の育成・支援することでスポーツ振興を図る。②指導者の育成と資質の向上を図る。③激励会を開催し激励金を交付することにより、全国大会出場者の健闘を讃え、競技スポーツの推進・向上を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	①体育協会・スポーツ少年団を支援することにより、各種スポーツ人口の増加を図る。②指導者の育成、資質の向上によりスポーツ活動の充実・活性化を図る。③全国大会等出場選手を激励・紹介することにより、競技スポーツの人口の増加を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	保健体育総務管理事業	備前市スポーツ少年団・備前市体育協会への補助金交付	◎
	各種委員会	備前市スポーツ推進審議会年2回・スポーツ推進委員会年4回	◎
	体育功労者・全国大会等出場選手激励金	備前市の体育に向上進展に寄与した者を表彰。全国大会国際大会等に出場する選手に激励金を交付	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	10,749	10,444	10,204
	必要人員	人	0.68人	0.62人	0.24人
	費用	千円	17,243	16,765	12,585
	国・県支出金	千円			
受 益 者 負 担 額	千円				
財 源	千円				
市 債					
その他()					
一 般 財 源		17,243	16,765	12,585	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	説明	115	86	85
	対前年比	%	-	74.8%	98.8%
	活動コスト	円	0	0	0

事業の成果		成果指標設定の考え方・式や説明				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
全国大会等出場選手激励金交付件数	目標値(A)	120	120	120	120	
	実績値(B)	115	86	85	到達目標値	
	達成率(B/A)	95.83%	71.67%	70.83%	120	

指数は全国大会等の出場者を増やすことが目的であるが、実績値は県や国の予選を勝ち抜いて国際大会・全国大会・小中学生の中国大会へ出場する者と、国民体育大会の岡山県選手団で備前市在住者で激励金を交付した件数。

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

進行年度(H27年度)の改革改善内容	
状況	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	全国大会・国際大会等に出場することは、スポーツを行う者にとっての目標の一つでもあり、スポーツ振興にも大きく影響があるので、出場者への健闘を讃え激励金交付は継続する必要がある。広報や新聞掲載により広く市民に周知できたので引き続き開催したい。

総合評価		Action	
総合評価	東備西播定住自立圏形成事業の一環で、スポーツ推進委員の意見交換会やニュースポーツの実技講習会を開催し、2市1町の委員同士の交流が活発に行われた。昨年度から行われているトップスリートスポーツ教室においても、世界で活躍するトップスリートを招き、2市1町の少年団や指導者の交流や活性化が図れた。体育協会・スポーツ少年団への活動補助金交付は有効に活用されスポーツ振興に役立てよう協議をする必要がある。激励金交付事業も市民にも周知されてきており、競技スポーツ振興においても継続する必要がある。	総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B

平成28年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 ○ 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	生涯スポーツの振興を図るため、体育協会・スポーツ少年団の支援・指導者の育成を行う。また、青少年健全育成のためにも、スポーツ少年団等の指導者の確保と養成が必要であるため、備前市で養成研修等の開催を行えるよう努めていく必要がある。全国大会等出場選手の激励金交付についても継続する必要がある。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	備前市体育施設設置条例・備前市都市公園条例
総合計画	大項目	基本構想	02 自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」	問 合 先	担当課(室) 文化スポーツ課スポーツ振興係 職・氏名 係長 波多野 靖成 電 話 63-3813 このシート作成に要した時間 2.0 時間
	中項目	基本計画	02 自分を磨ける・自分を褒められるまち		
	小項目	施策	08 スポーツ・レクリエーション活動の推進		
事務事業名		04	体育施設管理運営事業		

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	個人・団体でスポーツ又はレクリエーション活動を目的とした者	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	スポーツ推進のため、体育施設の整備充実を行い、効率的運営とサービス向上に努める。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	快適に気軽に施設の利用ができるよう各施設の環境を整え、(スポーツ活動やレクリエーションを目的に)利用者を増やすことでスポーツ人口の増加を図る。	

事業の実績		Do		
	細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するための実施した事業	総合運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	伊部運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	三石運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	日生運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	浜山運動公園管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	日生武道場管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	西永田と日海津(水たまり)管理運営事業	指定管理者制度導入による管理運営を行い、市民のスポーツ環境を整える。	◎	
	神根農村広場等管理運営事業	地域住民が気軽に使用できるよう管理をする。	▲	

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	145,456	123,784	143,083
	必要人員	人	0.25人	0.31人	0.29人
	事業費	千円	147,853	126,890	145,934
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	その他(一般財源)	千円	147,853	126,890	145,934
受益者負担比率		%	-	-	-

結果指標		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	人	371,539	356,657	334,738
	対前年比	%	-	96.0%	93.9%
	活動コスト	円	147,853	126,890	145,838
	単位当たりコスト	円	0	0	0

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値	
	目標値(A)	460,000	460,000	460,000	460,000	
	実績値(B)	371,579	356,657	334,738	到達目標値	
達成率(B/A)		80.78%	77.53%	72.77%	460,000	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市内の体育施設の利用者数(年間利用者延べ人数)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	市民参画度 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	

進行年度(H27年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況		○						
説明	指定管理制度の導入はコスト削減だけが目的でなく、市民サービスの向上や指定管理者による施設を利用したイベントを活発に開催することで、施設の有効活用となるよう促す。							

総合評価		総合評価
市内の体育施設を一括した指定管理者が管理運営することにより、備品等を共有でき利便性を図ることができている。一方利用者にとっては、地域性等があり統一された運営方法では満足のない部分もあるため、条例の範囲内で利用者のニーズに沿い最大限のサービスの提供を行い、民間活力を活用したサービス向上に努める必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		B

平成28年度の方向性・取組目標		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
方向性		○						
取組目標	各種団体や学校などの合宿や大会開催を積極的に誘致し、平成26年度に引き続き、市外や県外からの利用者が増えるよう営業活動を行い、体育施設だけでなく市内の宿泊施設等の利用も増加し市の活性化にもつなげたい。そのためには利用者のニーズに沿ったサービス向上に努めるよう指定管理者にも促していく。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな

